

クラブ奉仕委員会担当

令和5年2月15日(水)

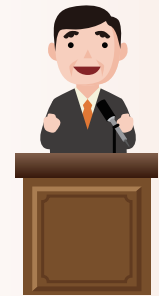


卓話者
増田 耕太郎会員

増田 耕太郎会員に
お話をいただきました。



クラブ奉仕委員会
櫻井 宣孝委員長



幹事報告

Secretary

幹事報告 第21回 (通算2049回)

1. 地区より
「第21回ロータリー全国囲碁大会」のご案内が届いております。
2. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より
ハイライトよねやま Vol. 275が届いております。
3. 明石ロータリークラブより
住所移転連絡が届いております。
4. 神戸西ロータリークラブより
「第45回ロータリー少年少女キャンプ」のご案内が届いております。
5. 兵庫県立美術館より
特別展「恐竜図鑑-失われた世界の想像/創造」開催のお知らせが届いております。
6. 加古川ロータリークラブ、加古川平成ロータリークラブ・明石東ロータリークラブより
例会変更のお知らせが届いております。

皆様、回覧致しますのでご確認下さい。

次回例会は2月22日休会となっております。翌週3月1日は出席・唱歌委員会担当による都倉隆宏委員長による卓話が予定されております。

皆様多数のご参加お願い致します。

以上 幹事報告でした。



ニコニコ報告

Donation

庄司 武

本日も皆様例会を楽しみましょう。
久しぶりの卓話を増田耕太郎さん楽しみにしています。

増田 耕太郎

卓話させていただきます。

廣瀬 明正・佐野 栄作・矢野 聡
濱田 喜重・吉川 弘・志方 正昭
村上 則宏・柿木 國夫・櫻井 宣孝
大村 裕史・中谷 利幸・内海 薫

三枝 丈次・都倉 隆宏・北田 伸一
松下 和雄・森本 匡裕・伊藤 勝之
大橋 卓司・坂口 嘉久

本日の増田会員の卓話を楽しみにしております。



2人の生きた時代

ポールハリス(1868-1947)とマフィア大ボスのアルカポネ(1899-1947)が生きた時代は、アメリカの歴史上で最も過酷な時期でありました。1920年の禁酒法開始とともにマフィアが台頭し、1929年にはセントバレンタインの虐殺が起っています。また同年、ニューヨーク株式の暴落で大恐慌が始まりました。その後、禁酒法が約13年、大恐慌が約4年続き、両者とも1933年に終わりました。この間アルカポネのいたシカゴはまさに悪の街でした。2人は政治的にも経済的にも道徳的にも退廃したシカゴの同時代を良くも悪くも活躍しました。

ポールハリスは弁護士として、アルカポネやその仲間の弁護を引き受けたのでしょうか。



出会いの可能性

ポールハリスがロータリークラブを創設したのは1905年で、37歳でした。アルカポネは6歳でした。禁酒法が始まった1920年には、それぞれ52歳、21歳です。当時ロータリークラブは創設15年目を迎えており、職業奉仕か社会奉仕かで激論を交わしていた時代です。アルカポネはギャングの大ボスのジョニー・トリノの子分として既に活躍しており、1925年にはトリノに代わり暗黒街を支配下におきました。

1931年は、アルカポネにとって忘れられない年でした。アルカポネはシカゴ市内に約2千のスープキッチン(無料食堂)を開設し、失業した労働者に食事を振る舞いました。しかし同年、アンタッチャブル(連邦捜査局)のエリオット・ネスに逮捕され、その後11年の実刑判決を受けアルカトラズ島に収容されます。32歳の時でした。

弁護士と刑事被告人の関係で2人が会った痕跡はどこにも発見できませんでした。やはりマフィアの弁護は彼らの息のかかった弁護士がするのが当然なのでしょう。ただ一つのエピソードがあります。アメリカ史上最も有名な犯罪の一つと言われる「ボビー・フランクス事件」があります。被害者の顔とペニスを塩酸で焼き消した誘拐事件で、後にヒッチコックの映画「ロープ」(1948年)やトム・ケイリンの映画「恍惚/Soon」(1992年)のモデルになった犯罪です。この事件の裁判が行われた1924年、ロータリアンの眼鏡商アルマーコウを出廷させ、遺棄された遺体の脇にあった眼鏡を鑑定し、真犯人を割り出しました(田中毅、「炉辺談話総集編」)

マフィアの対決

2人に個人的関係はないようですが、シカゴ市内でのロータリークラブとマフィアとの対決は幾つか記録されています。

国際ロータリークラブ連合会理論教育委員長のガイガンディガー(1923年国際ロータリー会長)はレストラン協会の道徳律を策定しました。シカゴ市内のレストランはマフィアの影響下にありましたが、この道徳律を使って改革を進めたとあります(出典、同上)。またシカゴロータリークラブの会長を務めたヘンリー・チャンバリンが中心となってシカゴ犯罪調査委員会を組織しました。委員の多くはロータリアンでした。彼らはマフィアの息のかかった多数の保釈保証人を告発し、その職から追放したと報告されています。

会おうことがなかった2人

当時のシカゴロータリークラブは、内では職業奉仕の理念や職業倫理が確立し、社会奉仕かで大論争を繰り広げ、外ではシカゴ市民のためにマフィア粛清に大活躍をしていたと想像できます。

例会記録 2023.2.15 (水) 通算 2054 回

ソング 「奉仕の理想」「四つのテスト」

出席報告 2月 1日 会員数 39名 欠席者 6名 出席率 81.82% (修正による)
(この内出席免除者 15名)
2月 15日 会員数 39名 欠席者 13名 実出席者数 26名
(この内出席免除者 15名) 出席率 83.87%



◆ プログラム予定 ◆

3月 8日(水)	高砂 RC との合同例会 (ホスト高砂青松 RC)
3月 15日(水)	【クラブ奉仕委員会担当】
3月 22日(水)	休会【定款第7条第1節(d)による】
3月 29日(水)	【プログラム委員会担当】

●●● 近隣クラブインフォメーションは、高砂青松ロータリークラブのホームページにてご確認ください。 ●●●

会長 庄 司 武 幹事 藤 井 宏 行 クラブ会報・広報・記録委員長 森 本 匡 裕

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室 (2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町 1104 電話 (079) 443-0500